

東北の新聞

刊休無中 日町十番地中北日

内郷村宮城炭礦長居居住 朽本芳賀國市羽町生れ小 堀佐由二七は去る二十四 日午前十時頃同礦坑内に於 いて作業中誤つて機械に捲き 込まれ即死

情したるだが騒では充分 考慮するも云つてはるから 吾々の要求は容れられら ぬものと思つてゐる

大越中佐 事業完成したので 銅像も急々建設されたので 解散する事になつたが顯彰 會には千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり

山野邊君に答ふ 高月臺生 眞立山野邊庄吉君 君の自己辯護の辭に當ても ない八ツ當り文を拜讀し たりして更らに頭が疑り なくなつた。東日の貴重な 紙面を亂用する事になるか りこんなくならぬ問題で 筆をとりたくもないか、行 きが、り山野邊君の名譽 を書く。

春光うららかに松ヶ丘公園に秋ひく人達をちらほらと見ゆける。 平町議戦も櫻花ランラン

古く平町が生みの惱みと 苦しみから生れるのは實 際に新生命の跳躍する大平 町であるであらう。

命も凡て新しい昭和維新に相應するものでなけれはならぬ。故に町政の中樞となるべき町議も議見ある時代の予てなけれはならぬ。

去る大正十五年の伊東知事時代に伊東知事並に石城郡湯本町有志、それに石城炭礦社長淺野總一郎氏等が會見して

現在の防波堤西側に更に三百圓の防波堤を設け向小名濱町本町の西端に四百圓の防波堤を設けて小名濱港を包むとして漁港から防波堤迄七百二十圓に護岸工事を施して岸壁を造り更に港内内二十萬坪のうち岸壁を中心にして約九萬三千坪の海

大越中佐 事業完成したので 銅像も急々建設されたので 解散する事になつたが顯彰 會には千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり

山野邊君に答ふ 高月臺生 眞立山野邊庄吉君 君の自己辯護の辭に當ても ない八ツ當り文を拜讀し たりして更らに頭が疑り なくなつた。東日の貴重な 紙面を亂用する事になるか りこんなくならぬ問題で 筆をとりたくもないか、行 きが、り山野邊君の名譽 を書く。

工事の方法も愈々決定した 小名濱商港の繼續事業 完成後は三千噸級の汽船を 樂々と岸壁に横付け

小名濱 港を商港たらしめんと計画して以來足かけ五ヶ年間縣に事つて運動して來た所謂小名濱港も幾多の曲折も無事に通過して過般の議會上に於て

現在防波堤西側に更に三百圓の防波堤を設け向小名濱町本町の西端に四百圓の防波堤を設けて小名濱港を包むとして漁港から防波堤迄七百二十圓に護岸工事を施して岸壁を造り更に港内内二十萬坪のうち岸壁を中心にして約九萬三千坪の海

底を約二十尺近くシンセツして岸壁へ三千噸級の汽船の隻を樂々と横付けにするので一方九萬坪の海底シンセツの砂を利用し十萬坪の埋立をなし東北に於ける横濱港を出現せしむるものであると云ふ

農民役員會 石城郡農會では中絶農民養成講習會の發達を計るため去る十五日講習會同窓會を組織したか事務所は郡農會内に置かす

大越中佐 事業完成したので 銅像も急々建設されたので 解散する事になつたが顯彰 會には千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり

山野邊君に答ふ 高月臺生 眞立山野邊庄吉君 君の自己辯護の辭に當ても ない八ツ當り文を拜讀し たりして更らに頭が疑り なくなつた。東日の貴重な 紙面を亂用する事になるか りこんなくならぬ問題で 筆をとりたくもないか、行 きが、り山野邊君の名譽 を書く。

各種團體事務所 平署の二階を 各種團體事務所 出縣陳情した伏見町長談

元郡役所内に各種團體に増額の陳情する事を町村事務所移轉に就ては陳情の接石城支會に一任したの如く平署の引越しと共に去る二十三日伏見支會長

元郡役所内に各種團體に増額の陳情する事を町村事務所移轉に就ては陳情の接石城支會に一任したの如く平署の引越しと共に去る二十三日伏見支會長

元郡役所内に各種團體に増額の陳情する事を町村事務所移轉に就ては陳情の接石城支會に一任したの如く平署の引越しと共に去る二十三日伏見支會長

元郡役所内に各種團體に増額の陳情する事を町村事務所移轉に就ては陳情の接石城支會に一任したの如く平署の引越しと共に去る二十三日伏見支會長

元郡役所内に各種團體に増額の陳情する事を町村事務所移轉に就ては陳情の接石城支會に一任したの如く平署の引越しと共に去る二十三日伏見支會長

元郡役所内に各種團體に増額の陳情する事を町村事務所移轉に就ては陳情の接石城支會に一任したの如く平署の引越しと共に去る二十三日伏見支會長

平町會廿七日招集 南町區長外數件附議決定

平町では来る廿七日町會を招集して左の件を決定する 一、三年度事業續延の件 一、三年度歳出入豫算更正の件

平町では来る廿七日町會を招集して左の件を決定する 一、三年度事業續延の件 一、三年度歳出入豫算更正の件

平町では来る廿七日町會を招集して左の件を決定する 一、三年度事業續延の件 一、三年度歳出入豫算更正の件

平町では来る廿七日町會を招集して左の件を決定する 一、三年度事業續延の件 一、三年度歳出入豫算更正の件

平町では来る廿七日町會を招集して左の件を決定する 一、三年度事業續延の件 一、三年度歳出入豫算更正の件

平町では来る廿七日町會を招集して左の件を決定する 一、三年度事業續延の件 一、三年度歳出入豫算更正の件

坑内即死 石城郡内郷村宮城炭礦長居居住 朽本芳賀國市羽町生れ小 堀佐由二七は去る二十四 日午前十時頃同礦坑内に於 いて作業中誤つて機械に捲き 込まれ即死

野球練習開始 中グラウンドに於て同境野 球部選手は猛練習を開始し たコーチャーは金士、石坂 の兩氏である

農民役員會 石城郡農會では中絶農民養成講習會の發達を計るため去る十五日講習會同窓會を組織したか事務所は郡農會内に置かす

町村會議員 改選で注意 平署と役場が違 反にならぬ様 愈々来る五月内郷村を皮切りに行はれる町村會議員改選に就いて平署では關係町村役場と協議上協定警告注意等詳細に互る選舉の心得を印刷して近く町村民全部に配布する筈である

水防議員總會 平町外二ヶ村の水害豫防組會議員總會は二十五日午前十時から平町役場に於て開催近く着工する新川護岸工事に就て協議した

顯彰會解散 大越中佐 事業完成したので 銅像も急々建設されたので 解散する事になつたが顯彰 會には千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり 之を以て千餘圓の餘金あり

山野邊君に答ふ 高月臺生 眞立山野邊庄吉君 君の自己辯護の辭に當ても ない八ツ當り文を拜讀し たりして更らに頭が疑り なくなつた。東日の貴重な 紙面を亂用する事になるか りこんなくならぬ問題で 筆をとりたくもないか、行 きが、り山野邊君の名譽 を書く。

工事概要は 鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

鐵道の完成と相俟つて平町政の運用は始めて大衆的となるので、自も及ばぬ事と見られてゐる。六ヶ年繼續事業たる商港の

日活時代劇 剣亂の森

原作脚色者 長谷部武臣
監督者 渡邊邦男
主演 鳥羽陽之助
川上彌生
寺島貢
尾上桃華

が、それはかつて源吾が大久保彦左工門に戦を記念として贈った小柄であった。それを梶村一味が探知して黒蛇一流の奇智を以つて大久保をそののかし奪つたものであつた、其の後のお鳥は愛恋二筋の道に悩んだ。或る日四郎三郎を誘ひらく一物語り親の仇敵として源吾を要求した、それ以来の四郎三郎は懊惱苦悶の幾日かが續いた。

不可解な浪人梶村勘藏は盗賊の三五郎一味と氣脈を通じて營繕奉行進藤源吾から千代田城の繪圖面をりやく奪せんと陰謀をたくらんでゐた。

進藤三吾の息子四郎三郎には黒蛇一味と連絡のある妖艶な辯天お鳥と云ふ想思の女があつた。

梶村は黒蛇の三五郎と謀つてお鳥の父、井筒屋藤兵衛を暗殺して、その罪を進藤源吾に負はせんとした。城の繪圖面を取り戻し源吾の充分の證據の品はあつた

春の子供洋服

帝都で最新流行のお召しはへのする……新形各種取揃ひました

男女通學服

此れならば實用向きだと云ふ品！
何卒御高賢の程をお願ひ申します
平町一丁目

高等洋服裁縫 高級既製品各種

ヒツジ屋洋服店 電話六一三番

醬油と味の嗜

福島縣平町 山崎合名會社
電話一營業部専用一〇番
電話一一般用二七番
振替東京一九七五五番

上野車坂四三 東京支店
電話下谷五七二番
振替東京六八三二二番

時代の進歩

フランス式!!!
漸新なる機械の完備
●カラー類ローラ仕上げ
●ドライクリーニング
●其他洗濯物一切

小松西洋洗濯所
平 鍛 冶 町
吉田屋呉服店向ヒ

日本最高の利益配當ある 仁壽生命

昭和三年度 最高四割五分
配當率 最低四分五厘
◎外務社員數名招聘
仁壽生命保險株式會社
平 監 督 所
平町大字六番地

平町五丁目 材木店
店主瀧口豊

高級車級切貨★

自動車の御利用は 氣分よく乗心よい
高級車 昭和三十四年
専門の 昭和タクシーへ
御用命を願ひます
電話三四三
澤 正 路

魚 清

魚がしの壽司と天金の天ぶらが 平二丁目の………で食へる
平館際 電六三三番

警城共濟病院組織

内科小兒科 (院長毎日診療)
院長 醫學博士 難 波
副院長 醫學士 五十嵐 雄二
内科部長 醫學士 中西 林 藏
外科部長 醫學士 中 西 林 藏
外科部長 醫學士 桂 重 憲
外科部長 醫學士 桂 重 憲
産婦人科 女子泌尿科、レントゲン科
産婦人科部長 醫學士 五十嵐 雄二
産婦人科部長 醫學士 川 添 正 道
顧問 醫學博士 難 波
主任 醫學博士 陸 波
本院醫事法制顧問 法學士 岡 澤 忠 治
本院主事 賀 澤 忠 治
◇御大典記念事業トシテ
一、衛生試驗所 (共濟病院内)
一、病氣相談所 (共濟病院内)
一、救 療 所 (共濟病院内)
平 町 警 城 共 濟 病 院
電話六四二番 入院自炊ノ便アリ 看護婦見習募集

洋服の御用命は

是非………田町の 大崎 (電七二三)へ
御問合せ下さい

玉屋洋品店

平町田町通り 電話六五六番

荷主本位

清宮運送店

平町田町 (水道部向ヒ) 電話二六七番

學生靴景品附大特賣

御用命は………一直線に大塚へ!
◇中學校………通學靴
◇女學校………通學靴
◇小學校………通學靴
◆豊富に而も廉價に實用品を揃へて………
御來店をお待して居ります
各學校御用 大塚支店 製靴部 運動具部
平町田町 電七〇二番